

おかやま森づくりサポートセンター 御中

岡山県農林水産部林政課
総括副参事（森林経営班長）

類似災害の防止等について（2回目）

林野庁から他県の活動組織において森林・山村多面的機能発揮対策交付金による活動中に災害が発生したと情報提供がありました。

つきましては、類似災害の未然防止に努めていただくよう、おかやま森づくりサポートセンター会員への周知・徹底をよろしくお願いいたします。

記

1 災害の概要

(1) 1件目

- ・災害発生日時：令和4年9月26日 15時40分頃
- ・作業内容：かかり木処理
- ・傷病の程度：右足関節解放性脱臼骨折（要手術、10月末退院予定）
- ・保険の加入状況：労災保険に加入
- ・災害の発生状況：

先日の台風により裏山の木が折れ、山頂付近の歩道の一部を覆うようなかかり木（サクラ）の処理を行っていた。

かかり木の状況は、上部にはかなりの量のツルが絡まっており、地上高約2.5mで折れ曲がり、10mほど離れたカラマツによりかるように倒れた。高さ15m、伐木部直径約20～24cm、伐木部地上高約1m。

当日は歩道を封鎖、作業員2名と被災者が伐木作業を行っていた。

伐木作業員がチェーンソーによるかかり木処理を行っていたところチェーンソーが挟まりエンジン停止、バーが抜けなくなったため、安全管理をしていた被災者が様子を見に近づいたところ、かかり木が当初伐倒する方向とは外れた位置に倒れ、近づいた被災者の上に倒れてきて、右足首が下敷きとなった。

発生後すぐに倒れた木を作業員2名で除去、被災者を救出すると同時に救急車を要請、意識はしっかりしていたが、下敷きになった右足首より出血し骨が飛び出ている状態であった。

受傷部を布で覆い止血、30分後に救急車が到着、救急隊員により裏山から搬出され、病院に搬送され緊急手術を受けた。

(2) 2件目

- ・災害発生日時：令和4年10月13日 8時30分頃
- ・作業内容：伐倒作業

- ・傷病の程度：右眉付近を3cm程度節操
- ・保険の加入状況：全国森林組合連合会 生産森林組合等の傷害保険に加入
- ・災害の発生状況：
被災者（80代男性）は、直径2.3cmの小さい竹をチェーンソーで伐倒作業中、切り口の竹が跳ねて右眉付近を3cm程切傷。自力で車に戻り、構成員に伴われて病院にて受診した。

2 活動時の主な留意点

- ・かかり木が発生した際は、かかり木の太さ、つる絡みの有無、かかり木の状況、作業場所の状況や周囲の地形を踏まえ、処理が難しいと判断される場合は、委託により処理する。
- ・チェーンソー使用时には、フェイススクリーンゴーグル等の安全装備を着用して作業を行う。

林政課森林経営班
担当：井戸本（3967）